

『欺瞞と混乱』

<https://www.youtube.com/watch?v=QXwQgQiTuc8&t=3577s>

おはようございます。私たちの毎週の聖書預言・アップデートへようこそ。今日皆さんがご参加下さり大変うれしいです。始める前に、いくつかお話ししたい事があります。全国的なニュースになった事に関して、皆さんから頂いた多くのメールや、ソーシャルメディアへの投稿やコメントに係るものです。ここオアフ島で実施された、COVID-19の検査は義務ではなかったという事です。一部ではそのように報じられましたが、任意によるものでした。火曜日・木曜日の両日、高速道路H-3が閉鎖され、H-3上のトンネル内で検査が行われました。火曜日と木曜日のことです。繰り返しになりますが、それは強制的なものではなく、任意的なものでした。また、ハワイは、再びロックダウン命令下にあります。現在、当初設定された9月9日の日付を超えて延長されるとの話が出ています。私たちは驚いていませんが、延長の可能性があります。いくつかの教会は、自主的に閉鎖しています。しかし、私たちは閉鎖しません。私たちは、何があっても開けておきます。...(拍手)...実際に、この件については、第二礼拝でもっとお話ししたいと思います。午前9時に始まり、ハワイ時間9時半からライブ配信される第一礼拝は「聖書預言・アップデート」で、そして午前11時15分からは、日曜日の朝の「聖書の学び」の説教です。日曜日の朝、私たちは聖書を通して、書ごと、章ごと、節ごとに学んでいて、現在、第一テモテ3章です。私は、教会を開けておくことについて、私自身の個人的な信念を話します。私は、閉鎖なされた牧師や教会を誹謗中傷するつもりはないのをどうか、お知りおきください。教会が閉鎖されているために、ここに来られた方がたくさんいらっしゃるのを存じています。私たちはただ、皆さんを歓迎します。どうぞ気楽になさってください。皆さんがいらっしゃって、私たちは喜んでいきます。しかし、私には言わねばならない事があります。そういう教会や、そういう牧師方は、主が彼らをその様に導いておられるのなら、それは私に何の関係があるのでしょうか？ヨハネの福音書21章から、主が本当に私に教えてくださり、私の心に語りかけてくださったことを説明します。

ヨハネの福音書 21 章

21 ペテロは彼（ヨハネ）を見て、『主よ、この人はどうなのですか』とイエスに言った。

22 イエスはペテロに言われた。『わたしが来るときまで 彼が（開ける）ように、わたしが望んだとしても、...

”生きる”です。JDV 訳でした(笑) すみません。...わたしが来る時まで彼が生きるように、わたしが望んだとしても あなたに何の関わりがありますか。あなたはわたしに従いなさい。』あなたはわたしに従いなさい。「彼ら」でも、「彼」でもなく。

23 それで、その弟子は死なないと言う話が 兄弟たちの間に広まった。しかし、イエスはペテロに、その弟子は死なないと言われたのではなく、『わたしが来るときまで彼が生きるように、わたしが望んだとしても あなたに何の関わりがありますか。』と言われたのである。

ですから私は、次の事を言うために、それをお話ししました。彼らが閉鎖したとしても、私に何の関わりがありますか？ 彼らは、イエスに従います。私が開けていても、それは彼らに何の関わりがありますか？ だから、こういう事です。あなたは、ただ主に従って下さい。私も、ただ主に従います。主があなたに、開けておくように 導いておられるなら、主を褒め称えます。主があなたに閉鎖するよう 導いておられるなら、主を褒め称えます。あなたはイエスに従ってください。しかし、閉鎖しないからと言って、私たちを 批判しないでください。それはあなたに、何の関わりがありますか？ ちょっと意地が悪いですが、言ってしまいました。もう一つお話ししたい事があります。検閲される事について、多くのメールや コメントを頂いているからです。ご存知の方も、そうでない方もおられるでしょうが、Facebook は、既に一部の投稿の検閲を 開始しています。彼らは、虚偽の情報、誤報として フラグを立てています。もちろん、それは彼らの語り口に合わないの、彼らはそうしています。私たちは利口でありたいと思います。箴言にはこう書かれています。

「賢い人はわざわいを見て身を隠し、 浅はかな者は入って行って痛い目に合う。」（箴言 27 : 12）

ですから、私たちは「蛇のように賢く、鳩のように素直に」（マタイ 10：16 参照）利口になって、計画を立てたいと思っています。YouTube が、あまり遠くない将来に、検閲をするか、私たちのチャンネルを削除する 可能性が非常に高いように思えます。ここ数ヶ月間、私たちは 新しいウェブサイトの準備をしてきました。『jdfarag.org』です。私たちは検閲されることを見越し、最新情報をお知らせするために、この新しい ウェブサイトを立ち上げようとしているところです。jdfarag.org にアクセスし、メールアドレスを登録して、購読いただけます。私たちがこれを進めていくに当たって、皆さんの忍耐とお祈りに感謝します。私たちはこのサイトが、最新情報を得るための 主要サイトとなる事を願っていますが、それだけではなく、それが対話的なものになる事も 期待しています。もし私たちがソーシャルメディアから削除された場合、そこが皆さんが、アクセスできるサイトになります。もう一つ、これはちょっと深刻な事なので、どうかご辛抱ください。あらゆる事に関する クリスマンや教会の間の内輪もめが…本当に、何もかも、すべての事についてです。マスクから、閉鎖や開ける事や、ブラック・ライフズ・マターまで、その中間のもの全てです。それは悪化しています。内輪もめがエスカレートしています。そのため、皆さんに、訴えかけたいと思います。私にそうする権威があるとも思いませんし、そのような態度を取るつもりもありません。私はただ、主にある兄弟、 イエス・キリストにある兄弟として言うだけであり、心からお願いしたいと思います。どうか、自分とは異なる見解を持つ人と、快く見解の相違を認め合ってください。キリストの体が、世界への良い証しで あり続ける時があったとしたら...そして勘違いしないでください。世界は見ています。その時は今です。悲しいことに、彼ら（世界）が見ていないのは、私たちがお互いを愛し合っていることです。むしろ、彼らは私たちがお互いを食い尽くし、破壊されるのを見ています。それが敵がやりたい事だと分かりませんか？ パウロが、ガラテヤ人への手紙 5 章 14～15 節で 書いています。

ガラテヤ人への手紙 5 章

14 律法全体は、『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』 という一つのことばで全うされるのです。

そして彼はこう言います。これは、 私たちクリスマン一人一人の背筋を ゾクゾクさせるべきものです。

15 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、 食い合ったりしているなら、 互いの間で滅ぼされてしまいます。

これが実は今日、主が私に話させたい事だ と感じています。それは、この悪魔的混乱を引き起こしている、 大規模な惑わしのことです。それはサタン的です。それは分裂と、それに伴う破壊につながり、それは、キリストの教会の携挙と、 その後の反キリストの出現をもたらすのです。それが起こっています。ですから、こんな感じです。混乱は、惑わしによって引き起こされ、サタンは混乱の作者であり、欺きの達人です。ですから、惑わしが混乱を起こし、分裂を招き、 最終的には破滅に至ります。それが起こっているんです。私に言わせれば、それは、こんにちの世界で、 また、悲しい事に今日の教会で私たちが 見ているものを説明しています。それは悪魔自身の作戦マニュアル通りです。イエスが仰ったように、**「彼は、盗み、殺し、滅ぼしに来ます。」（ヨハネ 10：10 参照）**

それが彼の作戦マニュアルです。それが彼の策略であり、計画であり、戦略なのです。皆さんも同意されると思いますが、こんにち、 欺瞞と混乱が非常に強く、大変強力であり、何が真実かを知ることは、ますます難しくなっています。何を信じればいいのか分からないし、 誰を信じればいいのか分かりません。それこそがまさに サタンが達成しようとしている事です。これは神から出たものではありません。悪魔のものです。これはパウロが、第一コリント 14 章 33 節で 語っていることです。

「神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。 聖徒たちのすべての教会で行われているように、」
真理は次の通りです。サタンはすべての混乱と、すべての欺瞞の作者です。良い知らせは、それは、私たちがどれだけ携挙に 近づいているかを示している事だと思えます。さて、それは、これが良いことだ という 意味ではありません。むしろ、それは神のものかもしれない と言うことです。それがどういう

意味かを説明します。これが私たちを主に向かって突き動かすものだ という意味で、神のものかもしれないのです。言い換えれば、混乱、欺瞞、分裂、破壊は、 私たちをイエスのもとに連れて行くための 媒体のような役割を果たしているのです。

(唯一の)道であり、(唯一の)真理であり、(唯一の)いのちであるイエスです。そして、イエスを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。(ヨハネ 14:6 参照)

この危機を取り巻く混乱を通して、私たちはこれをいくらか目撃しています。神は、人々をご自分のもとに導くため、また、 幾人かをご自分に立ち返らせるために、 それを使われています。神は、悪魔を利用しておられると 言う事ができると 思います。なぜなら、悪魔は神の悪魔だからです。被造物です。神は、偽りの父として、「偽り」である悪魔を利用し、「真理」であるイエスのもとに、人々を引き寄せておられるのです。もし皆さんが私に、今の世界で一番の惑わしは 何だと思うかと聞かれるなら、私の答えは2つです。 ブラック・ライブズ・マターと この捏造されたパンデミック。それは惑わしです。それが、こんにちの世界にあり、 それゆえ、こんにちの教会にあります。ブラック・ライブズ・マターと この「捏造された」パンデミックに共通するのは... 私がこういう言い方をするのは理由があります。すぐにもっと説明します。しかし、両者の共通項は、それらは両方とも 教会に浸透し、クリスチャンを欺き、 分裂しているという事です。それがリトマス試験です。あとでブラック・ライブズ・マターに戻りますが、しかし、真実を言うと、このパンデミックは、全て大きな嘘です。私は、ウイルスがないと 言っているわけではありません。私は、パンデミックはないと、言っているのです。私は、それをさらに一歩進め、これは”単なる嘘” ではないかもしれない と提案します。それは、実際に、あの”聖書預言における嘘” になる可能性があります。第二テサロニケ 2 章に 注目していただきます。私たちは最近、この書簡を一節ずつ、 学び終わりました。第二テサロニケの 2 章の 7 節から 12 節を 読みたいと思います。使徒パウロが書いています。彼の言っていることに、非常に注意深く耳を傾けてください。

「不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、”今引き留めている者” が 取り除かれる時までのことです。」(第二テサロニケ 2:7)

「その時になると、不法の者(反キリスト)が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。」(第二テサロニケ 2:8)

待ちきれません。ちなみに私たちは最前列に座って見る事になってます。御座のイエスのそばで彼の花嫁として座って。

「不法の者は、サタンの働きによって到来し、あらゆる力、偽りのしるしと不思議、」(第二テサロニケ 2:9)

「また、あらゆる悪の“欺き”をもって、滅びる者たちに臨みます。彼らが滅びるのは、自分が救う真理を愛をもって 受け入れなかったからです。」(第二テサロニケ 2:10)

「それで神は、惑わす力(強い欺瞞)を送られ、彼らは偽りを信じるようになります。」(第二テサロニケ 2:11)

「それは、真理を信じないで、不義を喜んでいた すべての者が、さばかれるようになるためです。」(第二テサロニケ 2:12)

パウロは何が言いたいのでしょう。彼は、基本的にこう言っています。人々は真理であるイエスを信じて、救われるか、あるいは、欺きであるサタンに惑わされ、罪に定められるかのどちらかです。このパンデミックと呼ばれるものの 欺瞞と嘘に入ります。これは、実際の死亡者数によって明らかです。これが始まったとき、勇敢に立ち上がり、これは辻褄が合わないと言う人達がいました。蓋を開けてみると、病院は、死亡診断書に COVID-19 と偽って、不正に記録することで、多額のお金が支払われていました。数字が人為的に上げられていたことは、CDC (アメリカ疾病予防管理センター) を 見れば分かります。こんな風に言えるとすれば、彼らは「帳簿をごまかしたわけです。」写真は、CDC の公式ウェブサイトの スクリーンショットです。彼らは、実際には死亡者は、10,000 人以下で、ただ COVID-19 だけ

に起因する死は 9,200 人だけだと記載しています。CDC のウェブサイトから引用します。“共存症”という見出しです。一引用「表 3 は、コロナウィルス 2019 (COVID-19/) 感染症に 関連する死と合わせて言及されている 疾患の種類や要因を示している。死亡者数の 6%が、COVID-19 が唯一の死因でした。」再度読みます。引用しています。「死亡者数の “6%”が、 COVID-19 が唯一の死因でした。」「COVID-19 に加えて、他に 病気や要因のあった死については、平均で、一件の死亡につき、 2.6 件の追加疾患や要因があった。」皆さんも、こういうミームを見た事があるでしょう。 蒸気ローラーで文字通り、 ペちゃんこにされた人がいて、「死因：COVID-19」とあります。少し考える時間を差し上げます。これが何を言っているのかお分かりですか？ COVID-19 による死亡者として報告された、約 17 万人のうち、94% が、平均して 2 つ〜3 つ、他の深刻な疾病を抱えていました。この CDC のデータによると、死亡者の圧倒的多数は、高齢者でした。写真は、ウェブサイト gatesnotes.com の ビル・ゲイツの写真です。皆さんに見ていただいたのは、あまりはっきり見えないでしょうが、 積んである一番上の本です。題名は『統計を使って嘘をつく方法』彼のお勧めの読み物です。実際、その同じウェブページには、ビル・ゲイツの「サマー・ブックリスト」が掲載されています。これらがその書籍であり、そのリストの一番上にある本は、『統計を使って嘘をつく方法』です。実は、同じページに動画があって、ご覧になれます。ビル・ゲイツは、彼のリストの全書籍について、語っていますが、都合よく、この一冊『統計を使って嘘をつく方法』は例外です。その中には、もう一冊面白い書籍があります。あまり深入りしませんが、たぶん、これは別の機会の別のトピックでしょう。肉を食べる事に関するものです。皆さんがご存知かどうか分かりませんが、ビル・ゲイツは、GMO 食品、 遺伝子組み換え作物に、何百万、何百万ドルも投資しています。GMO 食品です。私たちの食糧供給に 取って代わるために。興味深いことに、食糧供給は乱されています。皆さん気づかれたかどうかは分かりませんが、スーパーに行くと、私の気のせいでしょうか？ 店の棚は、日を追うごとに 品薄になってきていませんか？ そこに何かがあるかもしれせん。『統計を使って嘘をつく方法』ですって？「数字は嘘をつく。嘘つきは、数字を使うから。」と言う諺を聞いたことがありますか？ それは嘘なんです。理由は次の通りです。「うわー、牧師先生、かなり大胆ですね。」私はこれでも控えているんです。面と向かって(嘘をつくんです)。以下は、別の CDC ウェブページです。これは先週の月曜日、8 月 31 日に更新されています。一引用「集団予防接種クリニック・ガイダンス」引用します。「CDC は、サテライトか、一時的にか、または オフサイトで開かれる予防接種クリニックを 計画する為の改訂版ガイダンスを発表。このガイダンスの目的は、公的および民間の予防接種機関による、サテライトか、一時的か、またオフサイトの予防接種クリニックの 管轄計画と実施を支援すること。」引用終了。言い換えれば、我々は、集団予防接種のために、これを稼働させる必要がある。デイリーワイヤーによると、これは 11 月 1 日までに稼働する予定です。水曜日、デイリー・ワイヤーの報道です。トランプ政権は (これお聞きください。) 障害物を取り除くために、「緊急」に 取り組むよう、全州に強く勧めている。COVID-19 ワクチンの配布場所を 11 月 1 日までに、立ち上げられるように。皆さんも、アメリカ大統領が 公表を前提としてした発言を、きくと聞いたことがあると思いますが「超高速作戦」の旗印の下、彼は、軍(軍!)を使って、ワクチン接種をする 計画だそうです。11 月までに 1 億人、12 月までに 2 億人、1 月までに 3 億人。私の息子、レヴィが、誰かにもらった この興味深いミームを私に送ってきました。それは、こういう問いかけをしています。「マスクに効果があるなら、なぜ 6 フィートの距離を保たねばならないのか？ 6 フィートの距離に効果があるなら、なぜマスクがいるのか？ その両方に効果があるなら、なぜロックダウンするのか？ その 3 つ全てに効果があるなら、なぜワクチンがいるのか？ ワクチンが安全ならば、なぜ「責任免除条項」があるのか？ ええ、なぜ?? 私たちは理由を知っていると思います。息子が、今朝私に送ってくれた 別のミームがあります。それは、マスクをつけた人々で満席の飛行機と、空っぽの教会を映しています。そのキャプションは、「これはあなたの健康のことじゃない」これは、捏造されたパンデミックです。さて、これが、ブラック・ライブズ・マターに繋がります。もっとひどくなります。ここまでどうですか？大丈夫ですか？ 退席したいですか？ 私たちは頭を下げ、目を閉じま

すから、抜け出せますよ。皆さんも、間違いなく、「傷ついた人は人を傷つける」という表現を聞いたことがあるでしょう。傷ついた人は、今度は、人を傷つけます。同様に、欺かれた人は、人を欺きます。ブラック・ライヴズ・マターの共同創設者が次のように認めている動画が YouTube 上でいくつか出回っています。彼らは死者の霊を召喚して、死者に贈り物を捧げている、と。また彼らは、自分たちがこれらの霊によって力を与えられている事や、ブラック・ライヴズ・マターが霊的な運動であることも認めています。さて、ここに問題があります。これらの霊、死んだ人たちのものだと思われている霊は、その人たちを装っている悪霊たちです。これらの人々は悪霊に騙され、悪霊の教義で人々を欺いています。第一テモテ 4 章 1 節。ところで、主のみこころならば、今日の第二礼拝は、第一テモテ 3 章を学び終えるつもりです。第一テモテ 3 章の次は何かご存知ですか？ 大変深遠なことに、第一テモテ 4 章です。その 1 節です。

「しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。」（第一テモテ 4：1）

黙示録 16 章 13 節と 14 節で、ヨハネは次のように書いています。

「また、私は竜の口と獣の口、また偽預言者の口から、蛙のような三つの汚れた霊が出てくるのを見た。」（黙示録 16：13）

ファラグ/Farags ではなく、カエル/Frogs。いや、それが問題なんです。すみません。でも子供の頃に、、、私はいつもカエル、ケロケロ、オタマジャクシ、カーミットとか呼ばれていました。私は本当に、この事で非常に傷を負ってるんです。父に聞いたことさえ覚えています。「パパ.....せめて名前の発音だけでも変えられないかな?」「ファラグの代わりに、ファラージ。ファラージならどうかな?」手遅れです。君は、もう既に蛙なんだ。ところで、これは面白いです。あまり入り込みたくありませんが、エジプト人の、蛙の神への関心が再燃しています。最近のことです。蛙の神ヘクト。ところで、あの災いにおいて、その災いはどれも、エジプト人の多くの偽りの神々の内の一つに 対するものでした。彼らは、ナイル川を神として崇拝し、真の神は、それを血に変えられました。彼らは、これら全てを崇拝しました。彼らは、蛙を崇拝しました。だから...「蛙が好きなのか?」「蛙を崇拝するなら、蛙をやろう。」繰り返しますが、蛙/Frogs です。ファラグ/Farags ではありません。よろしいですね? さて、今気分が良くなりました。打ち明けておきたかったんです。ヨハネは、語っています。

「また、私は竜の口と獣の口、また偽預言者の口から、蛙のような三つの汚れた霊が出てくるのを見た。」
「これらは、（お聞きください。）しるしを行う悪霊どもの霊であり、...第二テサロニケ 2 章に似ていませんか?...全世界の王たちのところに出て行く。全能者なる神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを召集するためである。」（黙示録 16：14）

こんな風に言わせてください。彼らは進軍命令、暴動命令を、悪霊たちから受けているのです。そこから出ているんです。それは悪魔的です。地獄の穴からです。それは悪霊の教えであり、それには目的があるんです。この捏造されたパンデミックのように。それは惑わしです。この惑わしは今、教会への浸透に至っています。だからこそ、カムアウトしてきている教会や牧師、教派があるのです。そういう言い方は嫌いですが、より良い言い方がありませんので。彼らはブラック・ライヴズ・マター運動を支援しているんです。それは惑わしです。そして、サタンはそれを 利用しています。彼は、その惑わしの中に破壊を求めているからです。それが彼の最終目標です。そこにゴールポストがあるんです。彼は盗み、殺し、破壊しようとしています。教会を開けておく事について、第二礼拝の第一テモテ 3 章でお話する時、それについてもっと話します。しかし、私はこうコメントしたいのです。皆さん、たとえ少しだけでも、それは おかしいと思いませんか? オレゴン州ポートランドに行って、悪魔的な不法に参加して破壊することができる。と言うのも、彼らは何もかも破壊しているのです。再度、破壊。欺瞞そして破壊です。（※映像が消えますがしばらくご辛抱ください。）しかし、教会には行けません。選挙で選ばれた役職者たちが、、、どうか、お許しください。ここオアフ島の教会に閉鎖を嘆願しています。私は言います。「申し訳ありませんが」しかし、選出された役職者、警察署長、市長、知事、副知

事は、決して 教会に閉鎖するよう嘆願すべきではないし、また教会も彼らに、教会を開き続けることを嘆願すべきではありません！それは政府によって与えられた特権ではありません！ それは神によって与えられた命令なのです！ 一体全体！？ どうしたというのですか！ 一体何が起きているのですか！ 私は、自分が狂ってるんじゃないかと思ひそうだし、 そうだと仰る方もいるでしょう。構いません！ 怒鳴ってしまって、すみません。それは賜物です。私は怒鳴る賜物があります。私の母国の習慣です。(中東発音) そういうことにしておきます。ここが要点です。これらすべての事が、合理的疑いの余地なく 立証しているのは、前述の欺瞞は、 世界経済と世界中の政府を調整的に解体し、そして、反キリストの支配下で、 全世界の宗教を統一することの源です。皆さん、私の電子メールの受信トレイや さらにには普通郵便にも、いつも届くんです。「異宗教間で祈りを捧げるイベントのお知らせ。」私を招待するって？ 私は、呼ばない方がいいですよ。私は、来ない方がいいですよ。彼らは、別の神に祈ってるんです。 偽りの神です。さらに言えば、ここアメリカで行なわれているのは、 組織的な反対運動で、それはアメリカの 破滅につながるでしょう。今起きている事は全て、 彼らが”大規模な世界的再設定” と呼ぶものにつながるステップを入念に計画したものです。別名、「大いなる覚醒」です。それは、偽りの「ルシファーの光」への覚醒であり、それは、ニューエイジが、「水瓶座の時代」と呼ぶものを導き入れます。興味深いのは、これにハマると…。 ニューエイジの教えにハマってはいけませんよ。しかし、彼らは、この宇宙的な現象が 起こると教えています。人が大量にいなくなってしまう、と。そういう反応してくださる嬉しです。 皆さん、彼らが何を言っているか 分かっておられるという事ですから。それから 本当に興味深いのはここです。いなくなった人たちは、もう邪魔じゃない。 悪者たちは いなくなった。この新しい時代(ニューエイジ)を切り開くために 残されたのが善良な人たちだと。この「素晴らしい新世界」。このユートピア…。 それは偽りのユートピアです。 彼らは全く分かっていません。 彼らは騙されているのです。それは嘘なんです。あの欺きなんです。さて、それに関してもう一つ。彼らは、携挙を、そのように説明するのです。消えた人たちの事について。もう彼らは、邪魔でなくなりました。厄介払いだ。それに対して私が言うのは、「アロハ！」(笑)すみません。聖化された方法でいいです。「じゃあな。あんたみたいにやなりたくないわ。」しかし、重要なのは次の事です。今現在は、引き留める者と共に、クリスチャンとして、 私たちは塩であり、光です。塩は腐敗を防ぎ、光は闇をとどめます。これは酷い説明なんですけど、 私に出来る精いっぱいのもので。もっと良い説明があれば、私に知らせてください。しかし、闇のスイッチという物が ないことにお気づきですか？ ちょっとお時間差し上げます。光のスイッチはあります。どうやって暗闇を消すのでしょうか？ 闇のスイッチはありません。光をオンにするだけです。暗闇は消えた。皆さん要点がお分かりですか？ 私たちは、光です。イエスは、世の光です。私たちは、その光を覆う事はしないのです。ですから、携挙が起こる時に、何が起こるかと言うと、皆さん私のために祈ってくださいね。皆さんの多くが祈って下さってるのを 知っています。祈るべきですよ。なぜなら…私の見解は次のとおりです。 こんな感じです。あのね、この世界はあなたにあげますよ。 私たちがいなくなったらね。しかし今は、私たちはまだここにいます。(橋を架けて乗り越える＝) ぐずぐず言ってんじゃないよ。実際には..それはいつも妻に言われてるんです。 ぐずぐず言わないで、忘れちゃいなさいよ。しかし実際には、「橋を架けて、イエスのもとへ連れて行け」であるべきです。まだ時間がある間に。 手遅れになる前に。後でそれについてさらに話します。この欺瞞は、捏造された問題に対する、 反応を生み出すために使われています。それは最終的に、「最終的な解決策」と「私たちが知っている世界の終わり」につながるでしょう。では、素敵な午後をお過ごしください。それが向かっている先です。しかし、神は。しかし、神は!!! しかし、神は、神の御言葉の中で、何が起こるかを それが起こる前に、私たちに予告くださいました。それが起こるとき、私たちが 彼が神である事を信じるために。それはイエスが、ヨハネの福音書 13 章 19 節で仰っている事。お聞きください。イエスが仰っています。

「事が起こる前に、今からあなたがたに言うておきます。 起こった時に、わたしが『わたしはある』である ことを、あなたがたが信じる為です。」 (ヨハネ 13:16)

「わたしはある。」です。私はモーセと燃える柴を思い出します。私はハエになって、あの燃える柴の近くにいるラクダの背にとまっていたかったです。履物を脱ぎなさい。あなたが立っているのは聖なる地です。そこでモーセは震えています。神は「わたしはある」という者としてご自身をモーセに明らかにされ、モーセは少し戸惑って言います。

「あなたは私を送られましたが、私は彼らに何と答えればよいのでしょうか。」（出エジプト 3:13）
神の答えは、「わたしは『わたしはある』という者である。」（出エジプト 3:14）

「わたしは、『何』と？」「わたしはある。」...わたしはある...わたしはある...（わたしは...？わたしは...？続きは？）「わたしは『わたしはある』という者である。」...分かりました。これで一件落着、少なくともそうであるべきです。イエスは再度、次の章、ヨハネの福音書 14章 29節で語っています。

「今わたしは、それが起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったとき、あなたがたが信じるためです。」（ヨハネ 14:29）

そして、ルカ 21章 28節。

「これらのことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」（ルカ 21:28）

言い換えれば、「わたしはそれが起こる前にあなたがたに言った。（聖書）」わたしは何が起こるかを、それが起こる前にあなたがたに話しました。だから、それが起こり始めると、未信者は信じ、信者は身を起こすのです。立ち上がるのではありません。最後までお聞きください。私は、この運動があることを非常に懸念しています。「立ち上がって取り戻すんだ！」「え？」そんなこと、聖書のどこに書いてますか？それは、Kingdom Now Theology（神国神学）とか支配神学のようなものです。「私たちクリスチャンは地球を支配せねばならない。」聖書にそうは書いていません。それは偽りの教義です。私は、それは悪霊の教えであるとさえ言わせてもらいます。それは聖書的ではありません。立ち上がって取り戻すのではありません。身を起こすのです。私たちは連れ出されるのですから。それが、イエスの仰っていることです。「これらのことが起こり始めたら、自分の立場を固持して反撃しなさい！」違います！「これらのことが起こり始めたら、...」唾が飛びまくっています。今日の最前列は、無償のバプテスマです。私は、クリスチャンが立ち上がる必要があるとは思いません。むしろ、私たちは身を起こすのです。私たちは引き上げられるからです。間もなくです。私が今、引用したこれらの節に織り込まれている共通のテーマが何であるかご存知ですか？神は、私たちが備えることを望んでおられます。神は、私たちに準備が出来ている事を望んでおられます。だからこそ、事前に私たちに告げられたのです。皆さん、何かやって来るものに備えて誰かに準備させたいと思ったら、どうしますか？事前にそれを伝えるでしょう。こういう事が起こるのだ、と。私が今、あなたに告げているのは、それが起こった時に、あなたが不意打ちを食らわないためです。不意を突かれて、夜中の泥棒のように、面喰らわないように。私は、あなたに無知であってほしくない。あえて言うならば、聖書全体を通して、このように書かれています。神は、私たちが、聖書預言について無知であることを望んでおられません。使徒パウロでさえ、第一テサロニケで...彼が、聖霊に導かれて書いた最初の書簡は、テサロニケの教会に宛てたものでした。これは、パウロが始めた教会でしたが、彼は彼らとあまり時間を過ごせませんでした。彼が町から追い出されるまで、短ければ3週間、もしかしたらもうちょっと長く、でも、そんなに長くはありませんでした。これらは新しい信者でした。これは、新しい教会であり、使徒パウロは新しい信者である彼らに、何を教えるのでしょうか。携挙。聖書預言。「いや、しかし、ちょっと待って、パウロ。彼らは、新しい信者です。」「新しい信者には、聖書預言を教えるはいけません。」「あなたは熟練した、成熟した信者にそれらを教えるべきです。」勘弁してください！パウロが、初めてイエス・キリストの福音について書いたのは、テサロニケ人に宛ててです。コリント人ではありません。それはもっと後です。第一コリント 15章には、福音が出てきますが、彼が、最初に福音について教えるのはテサロニケ人です。それは、十字架の死、埋葬、復活、そして携挙においてイエス・キリスト

が戻って来る事に 関連して書かれています。それが福音です。皆さん、考えてみてください。それは良い知らせです。それが祝福された希望です。イエスが来られ、十字架につけられ、葬られ、よみがえっただけではありません。それだけですか？ いいえ。主は戻って来られます。それが福音です。それが良い知らせです。悪いニュースばかりで、しかも、どんどん悪く (badder) なっていくばかりですよ？ badder って言葉ありますか？ じゃあ、私たちが言葉にしましょう。それは、さらに悪くなってきています。そして、悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせはさらに良くなります。私は、神の御前に立って申し開きをするのですから、それを言わねばなりません。しかし、事態はただ悪化するだけでなく、はるかに悪化するでしょう。こんな風に言っていていいですか？ まだこんな序の口です。この先に起こる事に比べれば、こんな、何でもありません。そして、それが悪い知らせです。あなたがイエス・キリストを知らなくて、そして携挙が起こったら？ あなたは取り残されます。あなたは7年間の患難時代を経験し、それは言い表せない恐怖、想像を絶する恐怖になります。これが、私たちがこの毎週の 聖書預言・アップデートを行う理由です。このために、私たちは、イエス・キリストの福音と「救いのABC」を使った、子供にでもわかる、救いの簡単な説明で締めくくります。「救いのABC」に入る前に、皆さんに、非常に励ましになるメールを紹介したいと思います。「JD 牧師、私の名前はロレッタです。夫のティムと私は、今年の2月頃から あなたの説教とアップデートを見ています。私たちは、フロリダ州タンパの近くに住んでいます。もちろん私は、あなたの教えによって 導かれています。第一テモテの教えの中の『敵か機会か』という題の、この説教は、特に…」その中で私たちは、人々が敵ではなく 機会であることについて話しました。彼女が言うには、「この説教は、強烈なインパクトがありました。」「私は、自分がソーシャルメディア上でした あまり助けにならない発言について、何となく 罪の意識を感じていました。特に非常に民主党を支持し、社会主義者になりかけている人たちに対するものです。私は、壁が崩壊した90年代に、ロシアで宣教師として 生活していたので、こういう人たちには 特にはがゆくなるんです。私は、ロシア人が経済を立ち上げようとして どんな事を経験したかを目にしました。それは楽しいものではありませんでした。だから、私がこの『敵か機会か』という 教えを聞いた夜、主が、この説教であなただけを用いて 私に次の事を確証してくださったことを 感謝していました。私はアメリカのことをそんなに心配する必要はなく... もちろん諦めて何もしないではありませんが、しかし、福音は、救いに導く神の御力であることを 覚えておくことです。私は、政治の話をするよりも、イエスの良い知らせを語る事にしています。次の日、モールで、屋根付きの駐車場を出た後、フロントガラスに大きなヒビが入っているのを発見しました。岩や小石を積んだトラックの後ろを 走った覚えもありません。夫が帰宅して、それを見たとき、彼は、誰かがペレット銃で フロントガラスを撃ったように見えると言いました。ペレット銃理論の証拠がないまま、事件について冷静になった翌日、私は、ガラス交換の詳細を解決するために 保険会社と電話で約45分話しました。フェニックスの近くの自宅から勤務している コールセンターの女性に紹介されました。お分かりかと思いますが、私は、かなりのお喋り好きです。私は、彼女に気候のことや、彼女がCOVIDの影響下で どう頑張ってるか、尋ねました。それから、私は彼女に、神が全てを支配しておられることを話しました。彼女は、私の意見に同意してくれました。“行ける！”って思いました。私は、彼女に私がクリスチャンであることを伝え、何か私と一緒に祈れる事がないか、尋ねました。彼女は、黙ってしまったので、私は「あ〜あ！」と思いました。しかし、彼女は言いました。「実は、あるんです... 私はかなりの痛みで困っていて、そのために今は、在宅で仕事をしなければならないのです。」私は、彼女のために祈ると伝えました。でも、それから、私は彼女に、「今ここで一緒に祈ってもいいですか？」と尋ねました。すると、彼女は「はい。」と。祈りの後、主は、私のフロントガラスが壊れた理由は、彼女と一緒に祈る為だったと、私に印象付けられました。私は、彼女にそう言いました。すると彼女は泣き始めたんです。それはすばらしい”神の時”でした。また、数週間前、別の一件がありました。私はインスタグラムで、ある若い女性と 関わっていました。」大変危険です。インスタグラム、ツイッター、非常に注意してください。

以前にもこの話をしたことがありますがおそらく、再びそれを警告した方が良いでしょう。ソーシャルメディアは、罠になり得ます。そして、ソーシャルメディア上の ご自分の投稿に非常に注意してください。あなたはすべての投稿のすべての言葉の すべての文字に、申し開きをするのです。皆さんが それを知っておられることを願います。あなたの投稿は、人々をイエスに近づけるか、イエスから遠ざけるかのどちらかです。私たちの友人であり、キリストにおける兄弟である バリー・メグワイアが私たちを励まし、 勧めてくれたように、私たちは、毎日、皆を イエスに近づけねばなりません。そして、今ほど、私たちが 忙しくするべき時はありません。まだ時間がある間に、御国へと 人々を連れて来ることについて。しかし、私たちが肉で振る舞うと… 自分自身の事を言っていますが、 ああなんと、、、パウロが言ったことを考えてみてください。 私は、自分の肉の中には、 良いことは何もないことを知っています。(ローマ 7:18 参照)

肉は醜い頭をもたげて… 努力は要りません。一度返信するだけ、一度ツイートするだけ、一度リツイートするだけです、、、つまり、まるで、こんな風に、「やってやるぞ〜」その返事や、ツイートや、投稿を 燃え立たせるんです。あなたは、自問する必要があるかもしれません。その投稿の後、あなたは彼らに イエスを伝えることができますか？ 車の後ろに、クリスチャンの バンパーステッカーか何かを貼っていて、誰かの前に割り込むようなものです。それはどんな証人ですか。彼女は言います。「私が、インスタグラムで 若い世代を見下すコメントをした 若い女性がいました。『リベラルな教授達の影響を強く受けている』と。」はい、私もそれに賛同できますよ。そうだ！ 言ってやれ！ いえ、だめです。「そこで、彼女は私に、私が”年寄り”に違いない という感じの返信を送ってきました。」別に、何ともないわ！「そしてその瞬間に、私は自分では気の利いた ものだと思っていたコメントに関して、初めて本当に罪を自覚させられました。私は、自分に尋ねなければなりません。私はいかに彼女をイエスに近づけたのか？」ところで、それは罪の自覚であり、非難ではありません。

違いを知っていますか？ 罪を自覚させる聖霊のかすかな細い声がある時…なぜなら、これがリトマス試験です。罪の自覚は、あなたを主に近づけ、非難は、あなたを主から遠ざけます。非難は悪魔からのものであり、罪の自覚は神からのものです。その罪の自覚があるのです、、、「その説教を聞いたのは、私がこの一件について、一週間ほど考えていたところでした。」(そのインスタグラムの投稿について話しています) 繰り返しますが、『敵か機会か』の説教です。「私は、彼女に謝罪を送り、へりくだって、赦しを求めました。彼女はとても驚いて、とっても優しく、私に接してくれました。私は、私たちが、キリストが来られる前の 最後の瞬間にいることを知っています。私は、COVID が嫌いです。私はマスクが嫌いです。私は、社会主義/マルクス主義運動が大嫌いです。アメリカに関して、私が恐れていたことを 私は見えています。ソーシャルメディアに反映された、私の恐れに満ちた発言のほとんどが、実際に起こるかもしれません。しかし、イエスは支配しておられます。説教の中で、それが霊的な戦いであることを 思い出させてもらうことが必要でした。私は自問せねばなりません。私は、それが霊的な戦いであって、人ではないと、本気で信じていたのか、と。私たちは指導者のために祈る必要があると 話しておられましたね。ナンシー・ペロシのための私の祈りは、初めは、ちょっと困難でした。しかし、神は。私は耐え抜き、それを乗り越えました！ このすべてを認めるのは 恥ずかしいことですが、まあともかく… 祝福を！ 宣教を続けてくださいますように。 ロレッタ・キッシュより」ABC とは何でしょうか。ABC とは、救いを説明する一つの簡単な方法です。救いを説明する、唯一の方法ではありません。それは一つの簡単な方法にすぎません。どなたの知性も侮辱するつもりは 決してありません。ただ、子供にでも分かる、簡単な説明です。

「子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。」とイエスは言われました。(マタイ 18:3 参照)

子どもたちの何が特別なのでしょう。彼らは非常に信頼するのです。だから、私たちは、彼らに、見知らぬ人に注意するよう、 教えなければなりません。なぜなら、彼らはとても信頼するから。それが、イエスの仰っていることです。子供のような信仰、子供のような信頼です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また 自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。さて、これはあなたが救われるために 行わねばならない事ではありません。あなたが、せねばならない事は何もありません。 既になされています。完了しています。これは、人々がキリストの下へ来る方法です。自分が罪を犯した事を認め、 救い主/救世主が必要であると認めるのです。ローマ人への手紙 3 章 10 節

「正しい者はいない。一人もいない。」 (ローマ 3 : 10)

ローマ人への手紙 3 章 23 節が理由を教えてください。

「人は皆 (私たちの誰しもが)、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」 (ローマ 3 : 23)

ローマ人への手紙 6 章 23 節が、興味深いのは、それは罪の罰のための判決段階です。

「罪が支払う報酬は死です。…」 (ローマ 6 : 23a)

死刑宣告です。そこで、誰もが罪を犯したなら、 皆が死刑判決を受けているのです。 そうなんです。それは悪い知らせです。ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」 (ローマ 6 : 23b)

それってどうやって? イエスが来られて、ご自分の血を流すことで、 あなたの代わりに死なれたからです。そして、彼は十字架の上で、 それを贖い、その全額を支払われました。主は、あなたと私に提供して下さる贈り物の代金を 全額支払ってくださいました。贈り物とは、そういう物ですよ? あなたがそれを支払うなら、 それは贈り物ではありません。それは購入した物。彼が、私たちを購入しました。彼が、それを支払いました。 私たちではありません。その贈り物は、支払い済です。

「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」 (ローマ 6 : 23b)

B：あなたの心で、 イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9~10 節

「心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」 (ローマ 10 : 9)

そして、最後に C。C：主の御名を Call/呼び求める。ローマ人への手紙 10 章 9~10 節にあるように、Confess/告白する。

「口でイエスが主であると公に言い表し、 心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、 あなたは救われるからです。」 (ローマ 10 : 9)

なぜ、神が死者の中から彼をよみがえらせたという事を 信じ、含めることが重要なのでしょうか。なぜなら、主は復活において、 サタンを完全に打ち負かし、 それによって死を打ち負かしたからです。サタンは敗北した敵です。世に罪が入り、 罪に伴う死も世に入ったからです。それは決して、 神の当初のご計画ではありませんでした。罪と共に死が入ったとき、 第二の、最後のアダムである イエス、キリストが来られ、そして、その罰を支払い、 罪によってもたらされた死を破られました。

「実に、人は心で信じて義とされ、 口で公に言い表して救われるのです。」 (ローマ 10 : 10)

そして最後に、ローマ 10 章 13 節、

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』 (ローマ 10 : 13)

オンラインでご覧になっているなら、 あなたがこのビデオを見ているのは 偶然ではありません。このような時に、神があなたをこのビデオに 導かれたのだと、私は心から信じています。今日は、あなたの救いの日だからです。どうかお願いします。まだ時間があるうちに、

「主を求めよ、お会いできる間に。」 (イザヤ 55 : 6)

今日は救いの日です。私は今日、あなたが主の名を呼び求め、 口で告白し、心で信じて、罪の赦しのために 主に信頼を置かれることを、切に願います。ご起立ください。祈りで終わります。

主よ、ありがとうございます。主よ。栄光のこちら側では、私たちの救いを あなたに感謝してもしきれません。あなたの血潮でその代価を全額支払い、 私たちを贖って下さって、ありがとうございます。主よ。私たちはまた、何が起こるのかを それらが起こる前に教えて下さったことにも、 感謝しています。それが起こり始めるのを見れば、私たちの目はあなたに向けられますから。主よ、あなたが、今起こっている出来事を 用いておられることを私は知っています。ブラック・ライブズ・マター、破壊、欺瞞、この捏造されたパンデミック。主よ、私は、あなたがこれをお使いになっておられ、 今、人々があなたに目を向けているのを 知っています。あなた以外のあらゆるものに 信頼を置いていたかもしれない人たち…豊かさ、富、立場、地位、名声を 信頼していたかもしれない人たち…主よ、それらのものは 少なくとも今のところは、消えてしまったようです。かつての世界が知っていた、「通常」に戻ることはないでしょう。しかし彼らが言う、「新しい通常」が、 何であるかを私たちは知っています。主よ、この美しい教会に今 いらっしゃるかもしれません…私は、この素晴らしい愛に満ちた教会で 牧師であることを光栄に思っています。あなたを呼び求めた事がない方がいれば、主よ、私は今日、彼らが あなたに明け渡すことを祈ります。そして、主よ、どなたか、オンラインで見ている方で…私は最善を尽くしました。最後にもう一度お願いします。この世界と、この世の物ごとは、 過ぎ去っていきます。この世界は、私たちの家ではありません。あなたは、永遠に神と一緒に過ごす為、 神に似せて創造されたのです。だからこそ神は、ご自分のひとり子を送られるほど、 この世にあってあなたを愛して下さったのです。信じる者は誰でも、 永遠の地獄で滅びることがなく、永遠のいのちを得るのです。私は、あなたに嘆願します。 切に願います。イエスが、あなたの唯一の希望です。イエスが、唯一の答えです。主イエスよ、ありがとうございます。イエス様、私たちはあなたの御名によって祈ります。アーメン。アーメン

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7